

主要事業概要		対象年度	令和 4年度	担当部署	地域コミュニティ課			
		事務事業名	生活安全対策事業		事業期間	継続		
事業性質	■ 主要事業		□ 総合戦略	□ 行財政改革				
予算科目	会計	01 一般	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	08 生活安全対策費

事業費内訳 (単位:千円)	R 3決算額	R 4決算額
交通安全対策に要する経費		38,085
地域安全対策に要する経費		10,542
事業費計		48,627

◆主たる事業概要

【令和 4年度事業概要と効果】

■交通安全対策に要する経費

事業概要：各種機関や団体と連携しながら、市民の交通安全意識の向上を図るための街頭活動のほか、防犯灯のLED化の推進、カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設の新設・修繕や防犯灯の設置補助等を実施する。

- ①防犯灯LED化業務委託／市内の防犯灯LED化と維持管理を含めた委託事業で安全な住環境を整える。
- ②交通安全施設工事／カーブミラーや路面標示などの新設・修繕を行い、安心できる交通社会の確立を目指す。
- ③防犯灯設置補助金／集落等における新規設置の防犯灯への補助を行うことで、安全な住環境を推進する。
- ④交通安全推進活動補助金／市内の各交通安全関係団体への活動補助を行い、連携して市民の交通安全を啓発する。

効果：街頭活動による啓発や交通安全施設等を通学路等に設置することで交通安全対策に寄与し交通事故を防止する。

■地域安全対策に要する経費

事業概要：市民が安全安心に暮らしていくため、空家対策、地域安全活動の推進、犯罪の未然防止等のために防犯カメラの設置等に取り組みます。

- ①空家対策／空家相談会や空家等・空き地バンクにより、空家の適正管理及び利活用を推進し、また、市民に対し、広報誌や出前講座を通じて、空家問題の実情や対策を情報発信することで、問題意識、当事者意識の醸成を図る。
- ②防犯対策／防犯カメラの設置、保守等により防犯意識の向上だけでなく、犯罪の未然防止を行う。

効果：管理不十分な空家等の対策強化を進めると共に、犯罪の未然防止に努め、市民の居住環境の整備と保全に寄与する。



■空家相談会案内

【地方創生総合戦略の取組内容】

【行財政改革の取組内容】

■指標

種類	指標内容	単位		R 3年度	R 4年度	R 5年度
事務事業 成果指標	空家バンクの物件登録件数	件/年	目標	10	10	10
			実績	8	2	-
総合戦略 成果指標 (KPI)			目標			
			実績			
行財政改革 成果指標			目標			
			実績			

◆評価 (C)

事務事業	妥当性評価	必要性	高	交通安全の推進、防犯対策の充実は、総合計画に位置付けされている。					
	有効性評価	事業成果	高	交通危険箇所解消のためのカーブミラーの設置や、犯罪防止のための防犯灯設置は、安全な市民生活のために有効である。					
	効率性評価	経費削減	無	既存防犯灯のLED化が終了し、光熱費が増加傾向にあるため大幅な事業費削減は見込めない。					
	課題	少子高齢化による人口の減少により、空家の増加が懸念される。							
	部署内評価	カーブミラー、防犯灯に関しては、要望等により柔軟に対処している。空家の件数の増加に伴い、管理不全な空家も増加している。対処方法として管理不全な空家対策のみならず、空家の発生抑制、利活用促進の取組みが求められる。				評価結果	昨年度結果	B	
総合戦略	KPI進捗 (5年ごとの評価)	実行程進捗 (全体評価)			目標到達度				
	成果と評価					評価結果	昨年度結果		
行財政改革	進捗概要 (取組内容)	実行程進捗 (単年度評価)			目標到達度				
	成果と評価 (令和4年度)					評価結果	昨年度結果		
総合評価結果	内部評価	交通安全施設の整備に努める。また、管理不全な空家への対応が急務である。				内部評価結果	昨年度結果	B	
	外部評価					外部評価結果	昨年度結果		

◆今後の改善方策や方向性 (A)

事務事業	事業判断	継続性	継続	生活安全対策事業は市民の安心安全確保のため継続する必要がある。				
	改善方策	管理不全な空き家対策と並行して、空き家の発生抑制、利活用促進のための啓発、空家バンクの促進、相談体制の充実に取り組んでいく。						
	方向性	交通安全の推進するため、交通関係団体及び警察署と連携し、活発な啓発活動の展開や交通安全施設の整備を務める。空家に関しては、令和4年度に実施した、かすみがうら市空家等実態調査をもとに、かすみがうら市空家対策等対策計画を作成し事業を進めていく。						
総合戦略	次年度取組計画							
行財政改革	次年度取組計画							
指摘事項	内部評価	市民の生活安全のため、警察署や交通安全団体と連携しながら市民の交通安全意識の高揚を図る。また、空き家対策においては、関係部署と協力しながら空家の未然防止に努める。						
	外部評価							

主要事業概要		対象年度	令和 4年度	担当部署	地域コミュニティ課		
		事務事業名	自治振興事業		事業期間	継続	
事業性質	<input type="checkbox"/> 主要事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> 行財政改革				
予算科目	会計 01 一般	款 02 総務費	項 01 総務管理費	目 09 地域振興費			

事業費内訳 (単位:千円)	R 3決算額	R 4決算額
自治振興に要する経費		20,546
広聴に要する経費		327
事業費計		20,873

◆主たる事業概要

【令和 4年度事業概要と効果】

■自治振興に要する経費

事業概要：行政区と連携・情報共有することで市民協働型の行政運営が図られた。また、住民自治の振興を促進するため、行政区が自主的に取り組むコミュニティ活動をハード・ソフトの両面から支援した。

- ①行政区との情報共有／行政区長を通して、広報誌等の市情報を市民に提供、逆に区長要望等により、地域の意見や要望を市に届けてもらうなど、市と行政区の情報共有を図った。
- ②地域集会施設整備費補助金／地域住民の福祉の向上及び教養と親睦を図るための場として行政区等の地域集会施設整備に補助金を交付した。
- ③自治総合センターコミュニティ助成金／宝くじの社会貢献事業として、行政区等が行うコミュニティ活動に必要な備品等の整備に補助金を交付した。
- ④行政区等コミュニティ活動補助金／行政区内の交流や親睦を目的に取り組むコミュニティ活動に対し補助金を交付した。

効果：行政区の自立と地域の活性化が促された。

■広聴に要する経費

事業概要：多様な方法で、市から市民への情報提供の機会と、同時に広く市民からまちづくりについての意見や提言をいただく機会を提供した。

- ①区長要望／道路や交通・防犯施設の整備・改修等、行政区の要望書事案を適切に処理した。
- ②まちづくり出前講座／求めに応じて、市職員等が市民のもとに出向き、市施策の説明やその施策について市民から意見をいただく場として出前講座を実施した。
- ③市民提案／料金受取人(市) 払い市民提案用紙を全戸配付し市民から市政に対しての提案等をいただいた。
- ④行政相談／総務省委嘱の行政相談委員が住民からの行政サービスに関する問合せや苦情に対応した。
- ⑤その他の広聴事業／まちづくりミーティング等、より良い広聴機会を提供することができた。

効果：市の基本目標「みんなで作る連携と協働のまちづくり」による「開かれた市政運営」が図られた。



■まちづくり出前講座チラシ

【地方創生総合戦略の取組内容】

【行財政改革の取組内容】

行政区等コミュニティ活動助成については、制度の見直しも含めて活用を促進する。  
市民提案制度等の拡充については、オンラインでの提案等を含めて制度の周知に努める。

■指標

種類	指標内容	単位		R 3年度	R 4年度	R 5年度
事務事業 成果指標	まちづくり出前講座等参加人数	人/年	目標	300	300	300
			実績	242	203	-
総合戦略 成果指標 (KPI)			目標			
			実績			
行財政改革 成果指標	活動支援制度の活用団体数	団体	目標	-	4	5
			実績	-	2	-

◆評価 (C)

事務事業	妥当性評価	必要性	高	市民との情報共有は市政運営の基本である。					
	有効性評価	事業成果	高	市民から要望・意見を聴取し事業にフィードバックさせることができた。					
	効率性評価	経費削減	無	自治振興・広聴ともに市民に直接向き合う業務が多く、例年どおり事業展開を図る必要がある。					
	課題	まちづくり出前講座利用が伸びていないことから、利用の促進を図る必要がある。また、行政区に加入していない市民が3割以上いることから、市民提案制度の更なる周知に努める必要がある。							
	部署内評価	市事業に対する要望書（区長要望）については、各課への連絡調整・とりまとめ等適切に対応している。				評価結果	B	昨年度結果	
総合戦略	KPI進捗 (5年ごとの評価)	実施行程進捗 (全体評価)			目標到達度				
	成果と評価					評価結果		昨年度結果	
行財政改革	進捗概要 (取組内容)	実施行程進捗 (単年度評価)	遅延	50%	目標到達度	成果有り	75%		
	成果と評価 (令和4年度)	活動支援制度の活用促進に向け、制度の利用価値を積極的にセールスすべきであった。市民提案制度については、周知が図られ、市民に定着している施策であり、さらに利用向上にむけた手法を検討することとした。				評価結果	B	昨年度結果	
総合評価結果	内部評価	市民の意見を聴取する機会を提供するため、既存事業の検証・再構築に努める。				内部評価結果	B	昨年度結果	
	外部評価					外部評価結果		昨年度結果	

◆今後の改善方策や方向性 (A)

事務事業	事業判断	継続性	継続	市民からの広聴機会の提供は、切れ目なく継続する必要がある。			
	改善方策						
	方向性	市事業に対する要望書（区長要望）のオンライン化等により、事務の効率化を図るとともに、より迅速な対応に努める。					
総合戦略	次年度取組計画						
行財政改革	次年度取組計画	市民協働のまちづくりに向けた他の助成事業（まちづくり活動助成・（仮称）新まちづくりファンド助成）と併せて補助メニューの周知徹底を図る。民提案制度等の拡充については、制度の趣旨を理解していただいたうえで提案いただけるよう引き続き制度の周知に努める。					
指摘事項	内部評価	まちづくり出前講座利用が伸びていないことから、利用の促進を図る必要がある。また、行政区に加入していない市民のために市民提案制度の更なる周知に努める必要がある。					
	外部評価						

主要事業概要		対象年度	令和 4年度	担当部署	地域コミュニティ課		
		事務事業名	市民協働事業		事業期間	継続	
事業性質	■ 主要事業	■ 総合戦略		■ 行財政改革			
予算科目	会計 01 一般	款 02	総務費	項 01	総務管理費	目 09	地域振興費

事業費内訳 (単位：千円)	R 3決算額	R 4決算額
市民活動支援に要する経費		6,464
男女共同参画推進に要する経費		2,712
国際交流・多文化共生に要する経費		1,000
事業費計		10,176

◆主たる事業概要

【令和 4年度事業概要と効果】

■市民活動支援に要する経費

事業概要：市民参画意識の向上と参加機会の拡充を図り、市民がまちづくりの担い手として、地域の課題に自ら積極的に取り組んでもらえるような市民と行政による協働のまちづくりを目指した。

①まちづくりファンド／市民団体等が自主的に取り組むまちづくり活動を支援した。

②緑化推進事業／訪れた人が花を楽しむ「環境美化」と花壇づくりを通して仲間たちのコミュニティの活性化を図る「市民活動」の二つの目的をもつ「花のみち事業」・「花いっぱい事業」を推進した。

効果：市民がまちづくりの担い手として活動できるよう支援し、新しい公共の形づくりの推進と市民意識の向上が図られた。

■男女共同参画推進に要する経費

事業概要：「第3次男女共同参画計画」に基づき、各種講座の開講や普及啓発イベント、チラシの発行など、具体的かつ実効的な意識啓発や社会参画のための取り組みとその進行管理を推進した。また、第4次計画策定に向けた市民の意識調査等に取り組んだ。

効果：男女が社会の対等な構成員として活動に参画する機会が確保され、かつ共に責任を担うべき社会の実現に向け意識の醸成が図られた。

■国際交流・多文化共生に要する経費

事業概要：かすみがうら市国際交流協会を支援することで、日本語ボランティア養成講座、外国人市民のための日本語教室、生活相談会、外国人市民と日本人市民が理解と親睦を図るための交流活動などを実施し、市と協会の連携による市民協働型の多文化共生を推進した。

効果：外国人市民が地域に溶け込み、日本人市民とコミュニケーションをとりながら、双方がお互いの生活習慣や文化、風習、社会のルールなど理解しあうことで、それらが融合した新しいまちづくり、地域づくりを推進することができた。



■まちづくりファンド審査会



■「花のみち」植栽の様子



■男女共同参画シンポジウム

【地方創生総合戦略の取組内容】

○外国人生活ガイドブックの見直し、増刷や市HPの拡充等に取り組む。

○市民団体「かすみがうら市国際交流協会」との連携及び活動支援。

【行財政改革の取組内容】

現行のまちづくりファンドは民都機構の資金を活用したハード事業が令和3年度に終了し、6年度までの継続事業（ソフト事業）のみとなっており、これも令和6年度で終了するため、（仮称）新まちづくりファンド事業の整備を令和4年度から進めていくこととする。また、まちづくり活動に取り組む市民・団体を集めて市民協働シンポジウム（仮称）を開催し、ファンドの積極的な活用を促進する。

■指標

種類	指標内容	単位		R 3年度	R 4年度	R 5年度
事務事業 成果指標	男女共同参画の普及に関する実施事業数	事業/ 年	目標	6	6	6
			実績	4	6	-
総合戦略 成果指標 (KPI)	多文化共生に関する取組回数	回	目標	4	6	8
			実績	5	5	-
行財政改革 成果指標	新まちづくりファンド等の利用団体		目標	-	5	1
			実績	-	4	-

◆評価 (C)

事務事業	妥当性評価	必要性	高	市民参画意識の向上と参加機会の拡充が求められている。また、男女共同参画社会の実現に向けてあらゆる場面で啓発や支援を行うことは市の役割である。						
	有効性評価	事業成果	高	市民と行政による協働のまちづくりを進めることができた。また、第3次男女共同参画計画に基づき各種事業を実施し意識の醸成を図ることができた。						
	効率性評価	経費削減	無	限られた予算の中でできる限り市民意識の向上を図っている。						
	課題	まちづくりファンド事業について、ハード事業分は令和3年度で終了し、実施事業としては、ソフト事業(継続分)のみとなっていることから、これまでの事業成果を検証し、再構築が必要となっている。								
	部署内評価	男女共同参画の普及に関する事業については、市民自らが取り組む内容にしたことにより、理解と意識醸成がより深まったものと思われる。					評価結果	昨年度結果		
総合戦略	KPI進捗 (5年ごとの評価)	実施行程進捗 (全体評価)	遅延	50%	目標到達度	成果有り	50%			
	成果と評価	外国人市民が新型コロナウイルスや防災などの情報を得られるよう推進。/ポケトークで最大61か国の外国語の通訳が可能となった。/日本語教室を通して生活相談などの場になっている。令和2、3年度と、まちづくりファンドを活用し活動を支援。				評価結果	昨年度結果			
行財政改革	進捗概要 (取組内容)	実施行程進捗 (単年度評価)	遅延	50%	目標到達度	成果有り	80%			
	成果と評価 (令和4年度)	新ファンドの制度設計に向けて、現行制度の補助決定プロセスの見直しも含めて実施方法を再点検することができた。利用価値が高く幅広い利用団体が活用できるよう内容を検討し、地域コミュニティにおける新たな活動内容の掘り起こしにつなげていく足掛かりができた。				評価結果	昨年度結果			
総合評価結果	内部評価	総合計画の基本目標の一つである「みんなでつくる連携と協働のまちづくり」に合致している取り組みであり、今後も継続的かつ切れ目なく推進していく必要がある。				内部評価結果	昨年度結果			
	外部評価					外部評価結果	昨年度結果			

◆今後の改善方策や方向性 (A)

事務事業	事業判断	継続性	継続	市民協働のまちづくりを進めていく取り組みであり、今後も継続的かつ切れ目なく推進していく必要がある。			
	改善方策						
	方向性	現計画に位置付けている事業の進捗管理を適切に行うとともに、第4次計画の策定に向け着実に準備を進めていく。					
総合戦略	次年度取組計画	「かすみがうら市国際交流会」を「かすみがうら市国際交流協会」に格上げし、今まで以上の市民協働型の多文化共生・国際交流を推進していく。/外国人生活ガイドブックの増刷や市HPの拡充等に取り組む。					
行財政改革	次年度取組計画	新まちづくりファンドの整備に向けての例規整備を行い、現行制度の終了後の令和7年度からの実施を目指す。また、市民協働シンポジウムについても新ファンドの積極的な活用を促す目的も踏まえ、準備を進め、令和7年度の実施を目指す。					
指摘事項	内部評価	男女共同参画に関する市民意識の向上を目指して各種事業を実施しているが、事業内容等の見直しを行い更なる推進につなげていく必要がある。					
	外部評価						

主要事業概要		対象年度	令和 4年度	担当部署	地域コミュニティ課		
		事務事業名	移住定住促進事業		事業期間	継続	
事業性質	■ 主要事業	■ 総合戦略	□ 行財政改革				
予算科目	会計 01 一般	款 02 総務費	項 01 総務管理費	目 09 地域振興費			

事業費内訳 (単位:千円)	R 3決算額	R 4決算額
移住定住・結婚支援に要する経費		19,684
事業費計		19,684

◆主たる事業概要

【令和 4年度事業概要と効果】

■移住定住・結婚支援に要する経費

事業概要：少子化・人口減少の現状に鑑み、結婚を本人や家族だけでなく地域の課題と捉え、市婚活サポートセンターによる定住促進の観点からの総合的な結婚支援、移住希望者を本市に誘導するための住宅取得奨励金や家賃補助などの直接的な支援のほか、市外に住む田舎暮らし志向者への継続的な市情報の提供など、移住定住者や関係人口の増を目指す施策を積極的に推進した。

①婚活サポートセンターによる総合的な結婚支援

結婚相談、お見合い、婚活サポート講座の実施／登録者への定期的な近況確認やアドバイス／広報誌への掲載によるセンターの宣伝周知／成立カップルの見守り（見守り記念品の贈答など）とアドバイス／移住定住に繋げる成婚成立者への支援（成婚定住奨励金、結婚新生活支援事業補助金）

②移住定住者への支援

空き家バンクリフォーム補助金、わくわく茨城移住支援金、市移住促進住宅取得支援金など、移住定住促進の支援策の推進。／単に結婚相手の紹介や住まい確保を支援するだけではない、その後の出産、子育て、教育など、継続的・横断的な支援策を網羅したチラシ等を活用しての移住定住促進のための宣伝活動。

効果：若い世代が、本市に定住し続けたり、市外から本市に移住してきてくれるような、本市の魅力PRの一翼を担う。



■移住促進住宅取得支援パンフレット

【地方創生総合戦略の取組内容】

- 婚活サポートセンターによるお見合い、カップリングパーティ、交際カップルの見守り等の総合的な結婚・定住支援。
- 移住希望者への情報提供と相談窓口業務及び補助金等の支援制度の整備・実施及び周知。
- 空家等・空き地バンク物件募集 ○バンク登録者への奨励金制度の実施
- 空家出前講座の実施○空家相談会の実施

【行財政改革の取組内容】

■指標

種類	指標内容	単位		R 3年度	R 4年度	R 5年度
事務事業成果指標	移住定住・結婚支援事業による移住者数	人/年	目標	100	100	110
			実績	79	100	-
総合戦略成果指標 (KPI)	窓口を通じた移住定住件数 2件	件	目標	1	0	1
			実績	1	1	-
行財政改革成果指標			目標			
			実績			

◆評価 (C)

事務事業	妥当性評価	必要性	高	少子化・人口減少対策は、喫緊の課題である。			
	有効性評価	事業成果	高	まちの維持・活性化のために少子化・人口減少対策は必須である。			
	効率性評価	経費削減	有	移住定住・結婚支援による直接的な対策であり効率性は高い。			
	課題	婚活サポートセンターによる成婚に向けた支援に加えて、移住定住奨励金や家賃補助等のメニューを有効に活用し、人口減少に歯止めをかける必要がある。					
	部署内評価	婚活サポートセンターについては、成婚したカップルも出てきており少しずつ成果が上がっている。令和3年度から実施している移住促進住宅取得支援事業について、更なる周知に努めることにより、移住定住を推進していく必要がある。				評価結果	昨年度結果
総合戦略	KPI進捗 (5年ごとの評価)	実施行程進捗 (全体評価)	遅延	50%	目標到達度	達成	150%
	成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>お見合いのカップル1組が成婚。カップリングパーティは見送り。</li> <li>ふるさと回帰支援センターで市町村出張相談にリモートで参加。</li> <li>各補助金の実績は年度末に向けて大きく実績が伸びる見込み。</li> <li>固定資産納付書にチラシを入れたため空地バンク登録数が伸びた</li> </ul>				評価結果	昨年度結果
行財政改革	進捗概要 (取組内容)	実施行程進捗 (単年度評価)			目標到達度		
	成果と評価 (令和4年度)					評価結果	昨年度結果
総合評価結果	内部評価	少子化・人口減少対策として、移住定住・結婚支援施策は、継続して実施・拡充を図っていく必要がある。				内部評価結果	昨年度結果
	外部評価					外部評価結果	昨年度結果

◆今後の改善方策や方向性 (A)

事務事業	事業判断	継続性	継続	少子化・人口減少対策としての柱として、移住定住・結婚支援施策は継続して実施していく必要がある。			
	改善方策						
	方向性	婚活サポートセンターについては、登録者の増加（特に女性）を目指して、婚活パーティーの実施など積極的に事業を展開していく。移住定住については、補助メニューを広く周知し、移住定住者の獲得に努める。					
総合戦略	次年度取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>婚活サポートセンターへの登録者の増加に向けた取り組みを継続して実施。</li> <li>移住者が興味関心を持てるコンテンツの検討。</li> <li>バンク登録空き地を移住定住にどのように繋げていくか関係団体との連携・情報発信に努める</li> </ul>					
行財政改革	次年度取組計画						
指摘事項	内部評価	少子化・人口減少対策は、喫緊の課題であることをふまえ、継続した事業展開とともに、時代にマッチした事業内容へのアップデートに努める必要がある。					
	外部評価						